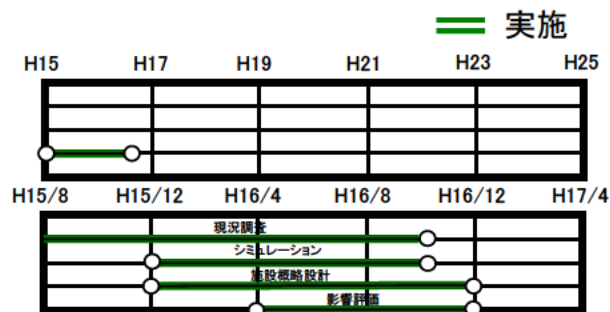


環境の現況調査

●具体的な整備内容

貯水池規模の見直し並びに貯水地運用の変更に伴う貯水地周辺やダム下流に与える影響をはじめ、環境等の諸調査を行う。

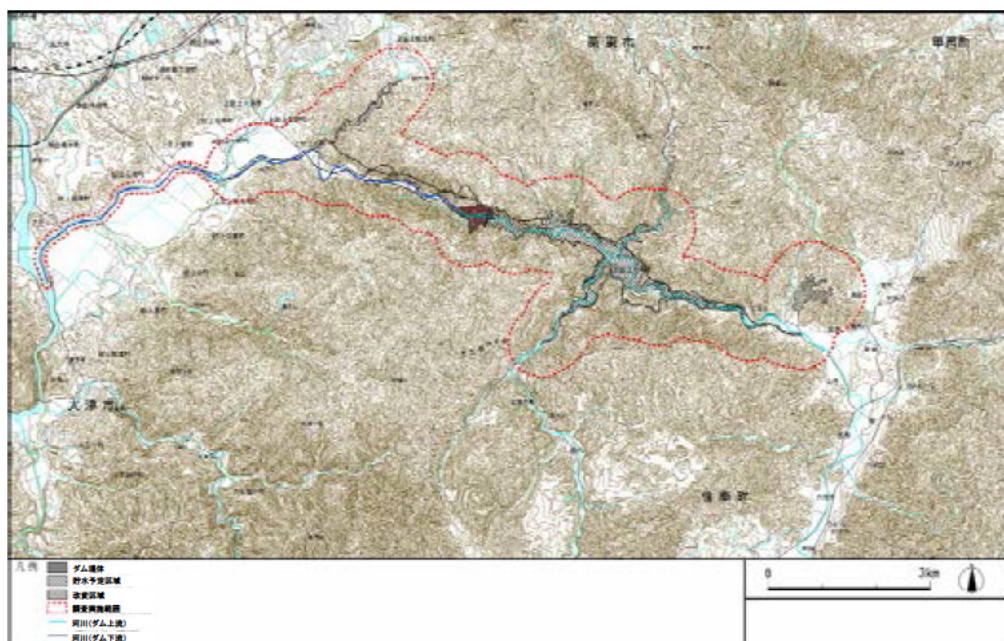
●実施スケジュール



●具体的な調査検討内容

1. 大戸川流域および大戸川のあるべき姿の検討
2. 環境の現況に関する調査
3. 影響の軽減策として、選択取水施設、流砂バイパス等の施設概略設計を行い、シミュレーションに反映する。
4. 影響評価(水量、水質、水温、動植物)の実施
5. 水量、水質、濁度、土砂の連続性についてシミュレーションを実施。

●調査範囲



現況調査状況

現地調査等の実施状況(昭和53年度～平成17年度)

項目	年度	昭和											平成																
		53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
動物	哺乳類																												
	鳥類																												
	希少猛禽類																												
	魚介類																												
	両生類・爬虫類																												
	陸上昆虫																												
植物	底生動物																												
	陸上植物																												
生態系	付着藻類																												
	陸上典型性																												
大気環境	河川域典型性																												
	大気質																												
水環境	騒音・振動																												
	流量・雨量																												
土壌汚染	水質																												
	地形及び地質																												
景観																													
人と自然との触れ合いの活動の場																													
検討会の開催																													

検討会の開催
 検討会の名称
 平成13年度～平成16年度(1回目まで):第1～4回大戸川ダムの付帯農道・工用道路に係わる生態系保全検討会
 (第4回から大戸川ダム事業に係る環境保全検討会に名称変更)
 平成16年度～:第1～4回大戸川ダム事業に係る環境保全検討会

調査結果

過去に行った環境調査における確認科数及び確認種数は、下表のとおりです。

(昭和56年度～平成16年度)

種類	確認科数	確認種数	天然記念物	種の保存法	環境庁RDB RL	近畿RDB	滋賀県RDB
陸上生物	154	1252	-	-	17	43	49
付着藻類	30	166	-	-	-	-	-
哺乳類	13	25	-	-	1	-	9
鳥類	44	128	-	3	9	61	72
は虫類	7	14	-	-	1	-	7
両生類	5	14	-	-	1	-	12
昆虫類	377	2951	-	-	5	-	18
魚類	14	42	-	-	6	-	27
底生動物	118	356	-	-	1	-	4

経緯

大戸川ダム建設事業の環境への影響を把握し、対策を講ずる基礎資料の収集として、現地調査を実施。河川整備計画策定に向けて貯水池規模の見直し並びに貯水池運用の変更に伴う貯水池周辺やダム下流に与える影響をはじめ、環境等の諸調査を実施。

当面ダムの建設は行わない方向であることから「各ダム共通の事項(3)環境への影響」で示したようなダム建設に伴う環境への影響について記述できませんが、これまでの調査検討結果については、公表していきます。

平成17年10月に大戸川ダム工事事務所HPで「大戸川ダム事業における環境調査結果」を公表しました。

委員会等からの意見(H17.1.22) 【事業中のダムについての意見書】

環境面では、大戸川ダムの建設は、例えばオオタカなどの猛禽類が生息するダム周辺の豊かな自然環境に重大な負の影響を及ぼす恐れが懸念される。